

ウトロ海域における取組の進捗状況について

トピック：継続して地域協働型の活動を実施

1. 部会では、観光利用と海鳥保全に関する協働型管理の推進の継続推進を確認した。
2. 海鳥調査、利用者アンケート調査等を行った。またケイマフリデコイを活用した PR 事業、ホームページの立ち上げ、普及啓発動画の you tube 公開を実施した。
3. 地域協働型活動の 3 年目として、事業の総括と今後の取組の検討を年度内に行う。

1. ウトロ海域部会の開催

- ・平成24年6月14日に平成24年度第1回ウトロ海域部会を開催した。
平成24年度事業として、ウトロ海域における専門家による海鳥調査、観光船からの海鳥観察記録、利用者アンケート調査、広報用動画コンテンツの制作等を協働ですすめるための意見交換を行った。

2. 地域協働型活動の実施

- ・平成 24 年 5 月 2 日に、知床海鳥研究会、ウトロ漁業協同組合、環境省にてトークシモイ湾に 4 基のケイマフリデコイと目印ブイを設置。5 月 GW 中の荒天にてデコイが流亡したことから 8 月 3 日に再設置。10 月中旬に知床小型観光船協議会の協力で撤収する予定。
- ・平成 24 年 6 月に知床海鳥研究会、北海道大学、環境省によるケイマフリの採餌環境を確認するための水中撮影調査を実施。
- ・平成 24 年 6 月にケイマフリ模型及び解説シートをウトロ地区内の各宿泊施設に配布し展示を開始。またケイマフリプロジェクト (<http://dc.shiretoko-whc.com/keimafuri/>) のホームページを立ち上げ、普及啓発動画の制作等を実施。
- ・平成 24 年 7 月に普及啓発動画の you tube 公開を実施した。
- ・観光船「おーろら号・おーろら 2 号」により、6 月から 7 月の運行時に見られる海鳥の観察記録を実施。環境省により地図情報として集計され、海鳥の保全及び観光への活用としてフィードバックされる予定。
- ・観光船及びシーカヤック事業者の配布協力を得て、利用者アンケート調査を実施。

3. 今後の予定

- ・平成24年度第2回ウトロ海域部会を平成24年10月23日に開催予定。
今年度事業の報告及び3カ年計画の3年目としての総括を行う。